

ネットワークスライシング

米T-Mobile、5G、ネットワークスライシングを用いて救急車内での脳卒中診断、治療を支援

T-Mobileは、救急車内ソリューションを提供するCeiba Health社と協力し、救急医療チームが病院に到着する前に脳卒中患者の診断を開始できるよう支援していると発表した。

両社は、ネットワークスライシング上でソリューションを実装し、**救急医療チームが、救急車から病院にいる医師に映像や重要なデータを確実かつ安全に送信するために必要なネットワークリソースに即座にアクセスできるようにした**。本ソリューションを利用する救急医療チームは、平均的なユーザーの最大5倍のネットワークリソースにアクセスでき、遅延が少なく高速な5G通信を一貫して利用できることで、**病院内の医師と同じ部屋にいるかのようにコミュニケーションできる**という。本ソリューションは、脳卒中ケアに加え、高度な外傷ケアなどの人命救急ユースケースでも活用が期待されている。

T-Mobileは、ネットワークスライシングは、特に緊急対応組織に対して提供価値が高いと述べている。



下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

ネットワークスライシング

e& UAEとNokia、ゲーム向けの固定エンドツーエンドネットワークスライシングソリューションをデモ

e&はNokiaのネットワークスライシングソリューションを世界で初めて採用し、同社のラボにおいてデモを行った。Nokiaのソリューションの特徴

- Nokiaが提供する固定通信向け自動化ソリューションにより、通信事業者は、標準ベースの**クロスドメイン・ネットワークスライス**を、**オンデマンドまたは自律的に作成可能**
- 通信事業者は、顧客のTVストリーミングやクラウドゲーム体験の最適化、在宅勤務や企業アプリケーションに適したスライスを作成可能
- 各スライスは、経路選択、速度、QoS、遅延、セキュリティなどの要件に応じて、異なるネットワーク特性を持つように調整可能

トライアルの概要

- e&は、**家庭内Wi-Fi網と光ファイバーアクセス網にネットワークスライスを構築**し、エンドツーエンドの体験品質を確保した。
- e&は、ゲームコンソールがオンラインになった際に自動的に検出し、要求に応じた専用の低遅延・高速ネットワークスライスを作成し、究極のゲーム体験を実現した。

5G高度化

中国移動上海支社、5G-Advanced(5G-A)ネットワークで上海マラソンをサポート

中国移動上海は、上海マラソンの全コースを5G-Aネットワークでカバーし、品質向上により、3万8千人のランナーと数万人の観客に向け充実した体験を提供した。会場では、トップランナーが5G-A対応デバイスにより、42.195kmの道のりをライブ中継し、ドローンがスタートからゴールまでのパノラマビューを提供した他、イベント主催者がレース全体を3Dモードで放送した。何万人ものユーザーがネットワークを利用し、映像共有や、ライブ中継などを行ったにもかかわらず、中国移動上海は、顧客から、画質がクリアで、ネットワークも安定していたとのフィードバックを受けたという。更に、中国移動上海は、**5G-A料金プランに加入するユーザーにより多くのネットワークリソースを割り当てた**。

中国移動上海は、2024年初旬の5G-A商用化以降、既存の5G料金プランより20-30元(約430-650円) 高い、より高いネットワークアクセス優先度を提供する料金プランを提供している。同社によると、5G-A料金プランではピーク速度が3倍から5倍に増加し、遅延は20%以上減少した。また、**同プランの1ユーザーあたりの月間平均データ消費量は、加入前より20%増加し、ARPUは11%も増加した**という。

5G法人ソリューション

米Verizon、5G対応小売ソリューション提供で Honeywellと戦略的提携

自動化機器などを製造販売するHoneywellとVerizonは、Honeywellが提供する小売業や物流企業向けのハードウェア、ソフトウェア、サービスと、Verizonの5Gを組み合わせて提供することで、技術の調達と管理、将来的なデバイスおよびデータプランの拡張を簡素化し、小売業のライフサイクルを合理化すると発表した。両社は、本ソリューションの利点として、**利用企業のビジネス回復力の向上**も挙げている。例として、停電になった場合に小売店舗は、インターネットを使えないために営業を停止せざるを得なくなる可能性があるが、Verizonの5GとHoneywellのハンディターミナル、非接触モバイル決済ソフトウェアの組み合わせにより、店舗はPOSシステムを使い続けることができ、**業務の中断と収益損失を最小限に抑える**ことができるとしている。Verizon幹部は、「あらゆる規模の企業が、重要なテクノロジーの調達にかかる時間と労力を削減し、業務を迅速に立ち上げる方法を模索している。Honeywellの完全なマネージド・サービス・ソリューションを単一の月額料金で提供することで、当社の小売および物流のお客様は、投資収益率とビジネス成果の推進に、より集中することができる」と述べている。



下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

モビリティサービス実現のためのエリア構築

欧州初の越境5Gハイウェイの構築により、革新的モビリティサービスを実現するプロジェクトが始動

5G A2A プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> フランスのメス市とドイツのザールブリュッケン市を結ぶ60kmの区間を3.5GHzによる5Gでカバー 参加企業：通信事業者の仏Orange、独O2 Telefonica、インフラ企業のVantage Towers、TOTEM(Orange子会社)、ザールラント応用科学大学 2027年末に完成予定
提供価値	<p>国境を越える旅行者の5G通信品質改善 以下のようなモビリティサービスの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 協調的な車線変更 衝突の予測と防止 自動渋滞警報 (部分的な) 自律走行車のテスト
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> フランスでは、OrangeとTOTEMが9基の通信塔を新設し、既存の通信塔を最大8基を更改して、3.5GHz帯での5G専用カバレッジを確保する。 ドイツでは、O2 TelefonicaとVantage Towersが3.6GHz帯で分散型アンテナシステム(DAS)を使用し最大5基の通信塔を設置する。



Copyright(C) 2025 KDDI Research, Inc. All Rights Reserved.

6G

公衆Wi-Fiサービス関連事業者業界団体WBA、6Gにおける無線技術間の連携強化を呼びかけ

WBAは、米AT&T、英BT、独DT、印Reliance Jioなどのメンバー企業の意見をまとめた6Gビジョン白書を発表した。同白書は、Wi-Fi、セルラー、非地上網、IoT網などの無線技術の中核とするユビキタス通信の実現に向けた以下の5つのポイントを説明している。

- **無線ネットワークが競争するのではなく協調するエコシステムを提唱。**
- 一貫性のないユーザー体験やカバレッジ、高コストのネットワーク実装などの課題に対処する実用的でスケーラブルなモデルが必要。
- **Wi-Fiの費用対効果は6Gを補完し、コストとネットワーク高密度化の必要性を低減することができる。**
- 対象アプリケーションが広範な5Gと違い、**6Gは医療、スマートシティ、産業オートメーションのような実用的な産業に集中すべき。**
- 標準化団体を通じて、Wi-Fi、セルラー、その他の技術の進歩を調整し、相互運用性の確保が必要。白書によると、Wi-Fi CallingやSIMベースのWi-Fi認証などの無線システム統合に向けた前進はあるものの、これらのサービスの実装コストや複雑さ、一貫性のないユーザー体験などの理由から、普及に至っていない。